

形成外科で扱う
症例や治療紹介

徳島大の医師が
海部病院で講演

4月から牟岐町の県立海部病院で出張診療している徳島大学病院形成外科の吉本聖医師(36)が、同病院で「形成外科ってなんだろう?」と題して講演した。地域住民ら約30人

が耳を傾けた。

吉本医師は、やけどの痕やほくろなどを除去する治療について画像を見せながら紹介。

「形成外科は体の機能や色、形を回復させ、患者が社会で生活しやすい体面での生活を。相談してほしい」と呼び掛けた。

同町中村のパート職員新居久美子さん(60)は「皮膚の傷が目立たなくなる治療例に驚いた。困ったときは利用したい」と話した。

形成外科で扱う症例について話す吉本医師。牟岐町中村の県立



海部病院

(濱岡幸宏)

吉本医師は毎月第2、4月曜に診療している。